

新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和2年度分）

【施設の概要】（所管部記入）

施設名	新座市立野火止公民館及びふるさと新座館ホール			
所在地	新座市野火止6-1-48	所管部署	教育委員会教育総務部	
制度導入年度	平成30年度	選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 / <input type="checkbox"/> 指名	
指定管理者	名称	株式会社セイウン	所在地	埼玉県さいたま市桜区田島9-3 1-1
	指定期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日（4年間）		

【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	<p>野火止公民館・ふるさと新座館ホールを指定管理者として管理運営を行っている。条例に基づいた各室の貸出業務・施設の維持管理業務に加え、野火止公民館では、社会教育施設として講座の企画運営・自習室による市民の自主学習活動のサポート、ふるさと新座館ホールでは、文化振興施設として自主公演等の企画運営を行っている。</p>
特筆事項	<p>※ 運営において創意工夫した点や指定管理者の提案による新たな取組等を記載</p> <p>① 公民館事業 公民館講座は、新型コロナウイルス感染症予防対策により、計画を全面的に見直すこととなったが、10月から3月までの間に合計25講座49回開催し、延べ422名の参加をいただいた。制約の中でも様々な工夫を行い、公的機関や大学からの出張講座、市の歴史や自然を知る講座、サークルと連携した講座など、質の高い講座の提供に努めた。</p> <p>② ホール練習半額キャンペーン コロナ禍において催事のほとんどが中止となり、ホールの稼働率が大きく減少したため、有効活用策として市と協議の上、練習に関してのみホールを半額で利用できるキャンペーンを実施した。2月から月4枠で実施したが、全枠の申込みがあり好評を得ているため、令和3年度も稼働率が回復するまでの間は継続的に行う。</p> <p>③ 公民館活動団体の動画撮影 野火止公民館の登録団体の協力を得て絵本の読み聞かせ動画を撮影・編集し、市の公式YouTubeで公開した結果、1週間で500回を超える視聴があった。</p>

【総合評価】

指定管理者の自己評価

総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	<p>指定管理者制度導入3年目となり、2年間の成果を活かした運営を計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策による緊急事態宣言やその後の利用制限を受け、感染予防対策とのバランスを考慮して事業計画の見直しを行った。新しい生活様式に対応した施設利用・運営のあり方を模索する中で、多数の質の高い講座の企画運営を図った。また、サークル動画撮影、半額練習キャンペーンなどの新しい取り組みにも着手した。一方でホールを中心に施設稼働率の悪化及びそれに伴う利用料収入の減少、市民の自主活動の衰退などの課題に直面している。この状況が当面の間継続することを念頭におき、令和3年度も感染予防対策には配慮しながらも、生涯学習や文化振興支援につながる、現状に即したサービスを提供していきたい。</p>			
改善策	※ 評価Bの場合のみ記入			

市の評価

総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	<p>コロナ禍においては、イレギュラーな対応が求められるため、館運営は困難であると考えますが、適切な安全対策を講じた上で、積極的に事業を実施した点については評価できる。特に、YouTubeを活用した講座の実施やホールの練習利用半額キャンペーンなど、特色のある事業を実施していただいた。</p> <p>一方、施設の利用方法や各部屋の定員設定などについて、利用者等から指摘を受けた点においては、今後とも公平性を保った対応を求めたい。</p> <p>また、指定管理3年目となるが、その間に職員が退職し欠員期間が生じることが度々あったので、人員の安定配置については重大な課題であるものと捉えていただきたい。</p> <p>当館は、利用料金制を採用しているため、利用料収入の減少が経営に大きく影響を及ぼすことを市としても認識しているところであるが、先の見通せない状況がしばらく続くものと考えられるため、今後とも収入減に見合った経費の削減や施設の利用促進策を市と連携を取りながら積極的に実施していただきたい。</p>			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

今年度はコロナ禍の中、運営の難しい一年であったが、総合評価で適正との評価をいただくことができた。施設利用と感染予防対策、利用者からのご意見の中でバランスを取ることを心掛けたが、結果として公平性に課題が生じてしまったため、今後については市ともより密接に協議しながら、適切な対応をしていきたい。人事の件については、昨年度からの課題が改善できなかったことは大きな反省点であり、採用が難しい現状から今後については社内での人事異動を行い、安定化を図っていく。令和3年度についても、引き続きイレギュラーな状況が想定されるが、新しい生活様式も踏まえた上での積極的な利用促進と事業展開を推進し、収益の確保にも努めてまいりたい。

評価区分	平成30年度 (1年目)	令和元年度 (2年目)	令和2年度 (3年目)	令和3年度 (4年目)	—
指定管理者の自己評価	A	A	A		
市の評価	A	A	A		